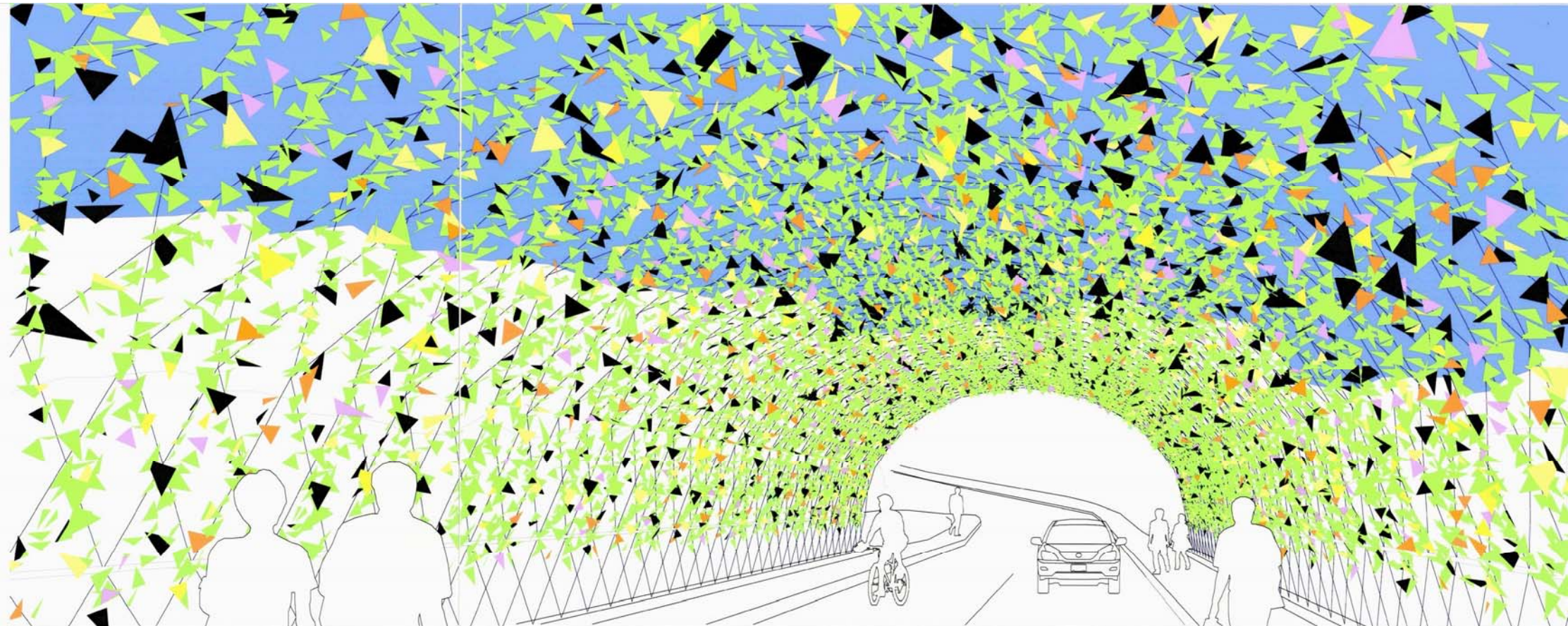
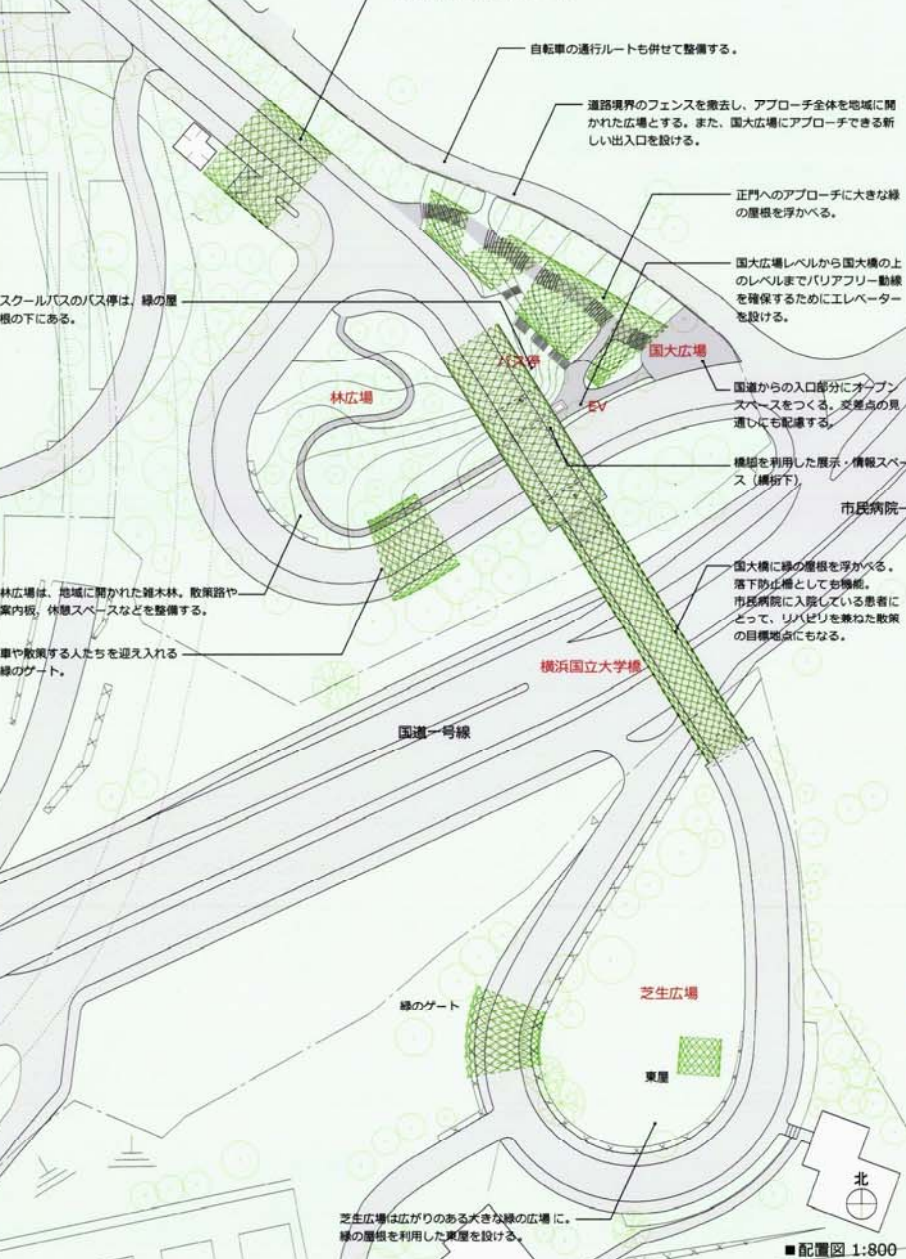


緑を浮かべる

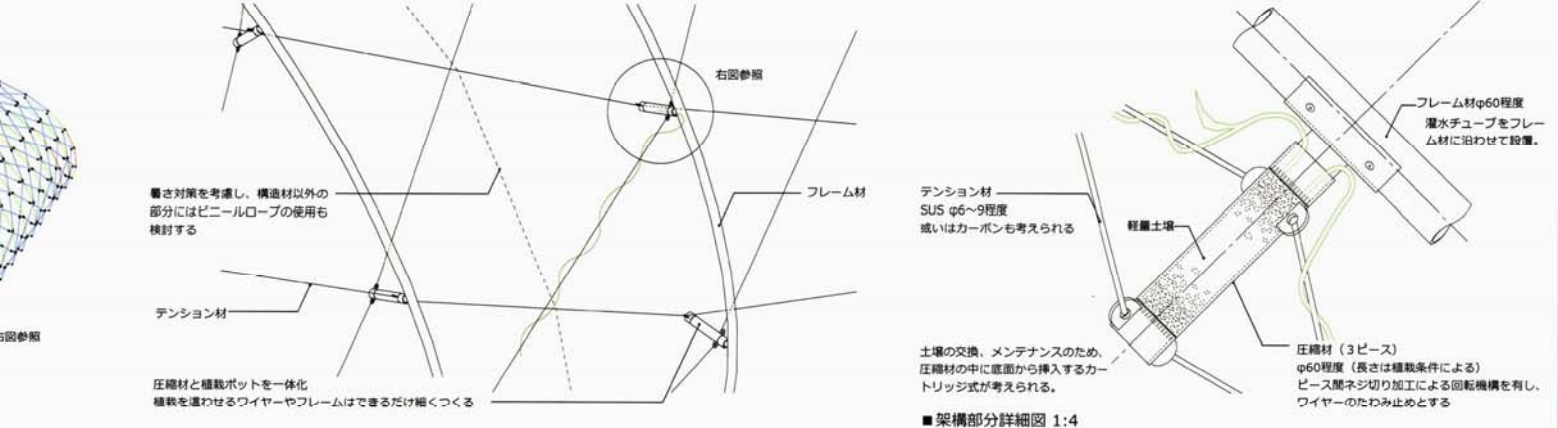
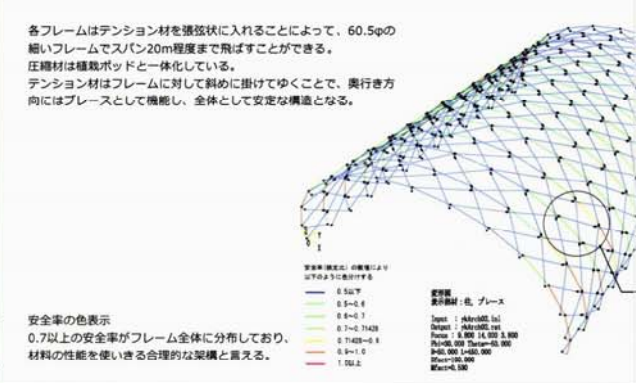
大学のシンボルとして、緑を浮かべます。
 緑の屋根の下は、学生の居場所であり、地域住民の散策路であり、大学での研究活動を展示する場です。
 緑を浮かべること自体も、緑に復元に取り組んできた横浜国立大学ならではの挑戦です。
 緑の屋根は、大学を象徴的に演出します。
 緑の屋根は、地域住民にとって、大学がより開かれた存在となるための仕掛けです。



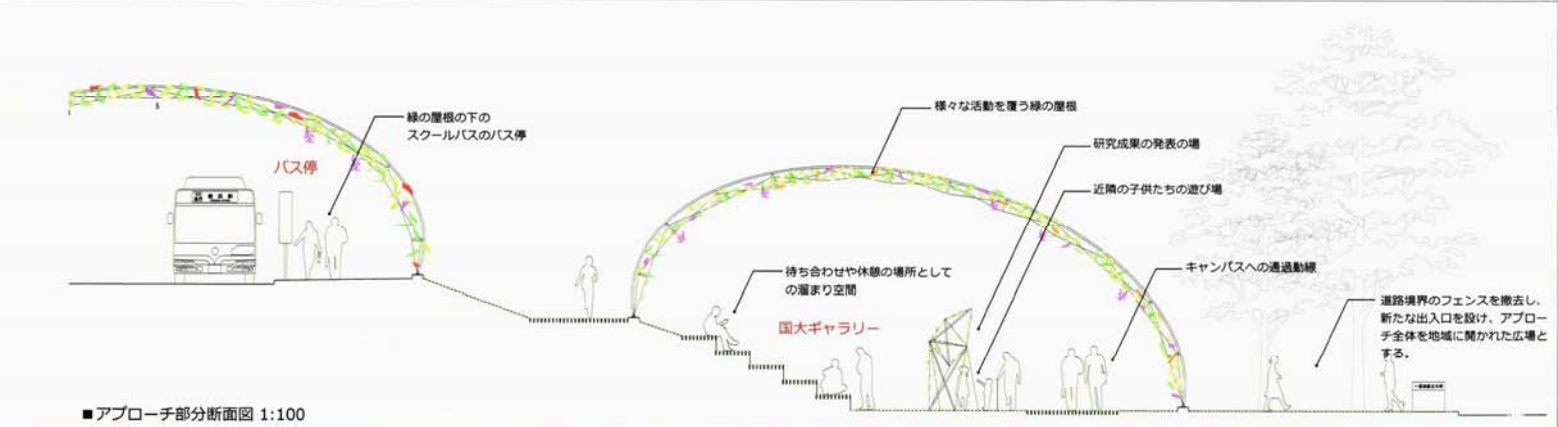
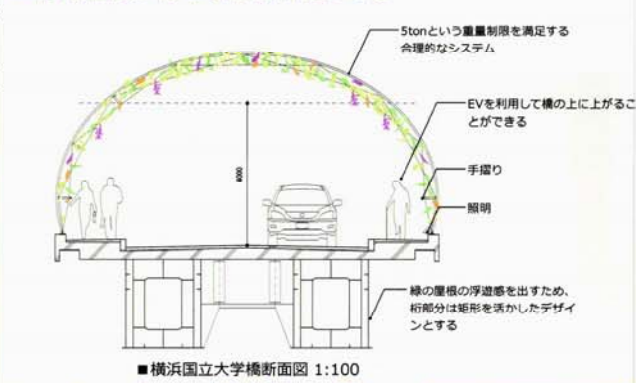
■地域に開かれた玄関をつくる



■架構と植栽が一体となったシステム



■緑の屋根が様々な居場所をつくる



■植物の例

